

共通テーマ「北京オリンピック雑感」：オリンピックのインタビュー・コメントから

渡部, 近志 / WATABE, Chikashi

(出版者 / Publisher)

法政大学体育・スポーツ研究センター

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

法政大学体育・スポーツ研究センター紀要 = The Research of Physical Education and Sports, Hosei University

(巻 / Volume)

27

(開始ページ / Start Page)

85

(終了ページ / End Page)

86

(発行年 / Year)

2009-03-31

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00007562>

共通テーマ
「北京オリンピック雑感」

オリンピックのインタビュー・コメントから

渡 部 近 志
Chikashi Watabe

オリンピックにはマスメディア、特にテレビの存在は欠かせないものになってきた。遠くのもの（テレ）を映し出す（ビジョン）は、お茶の間にオリンピックの雰囲気、臨場感そして高揚感をもたらしてくれる。その要因は中継技術の発達であったと考えられるが、実に多彩な角度からスポーツのシーンを配信してくれるのである。よって、オリンピック・ファンはテレビの前から一歩たりとも離れることができないのである。

オリンピック・ファンである著者は、当然テレビの前に指定席を確保し日本代表選手の競技パフォーマンス、競技力に一喜一憂しながら北京オリンピックを楽しんだ。自身が陸上競技の経験者であることからゲームスポーツ（ソフトボール）もさることながら、個人競技としての競争競技、水泳、レスリング、体操、そしてやはり陸上競技を中心としたオリンピック観戦となった。そうしたテレビ観戦を通じてのもう一つの楽しみは、それは何と言っても競技を終えた選手への共同インタビューである。これこそテレビ視聴の即時性とも言える「生の感動」であると考えてるのである。呼吸が乱れた中でインタビュアーに応える選手の競技感想を聞き入りことによって、選手のオリンピックに対する思い入れや取り組み、そしてこれからの競技課題、目標などを素直に発言してくれるのである。これほどのオリンピック情報もない。そこで今回の「オリンピック雑感」は、陸上競技を中心とした著者の心に残った、日本代表選手の競技直後のインタビューに応える内容を書き残したものから抜粋し著者のオリンピック雑感としたい。

水泳競技：

【K選手】＝「なんも言えねー」

*100mにかけたエネルギーが十二分に伝わる。勝負の行方はレースが終わるまでは解らない。この山を乗り越えればという自信にあふれた顔が印象的であった。

【N選手】＝記録にチャレンジするという大切さを思いました。

*競泳、競走競技は、競技記録は重要な競技力のバロメーターであることを考えさせる。

陸上競技：

【U選手】（女子 400mH）＝中盤、後半の伸びに課題がある。自分のレースをしようと思った。後半が（スピードが）伸びなかったが、きょうは良い感じだった。次に（4×400mR）つなげられたらなアーと思う。

*オリンピックはコーチであり選手に大きな課題を与える。

【M選手】（20km競歩）＝オリンピックはすばらしい。強く

なって戻ってきたい。

*トップ・アスリートとして力強い発言であった。

【N選手】（女子マラソン）＝世界いとの力の差を感じた。女子マラソンの入賞ができなかったので、もう少し頑張ればよかったと思う。

*期待された女子マラソン。個人競技とは言えマラソンはチーム力とを感じる。

【T選手】（一万_㌢）（五千_㌢）＝力不足です。ゆさぶりが勉強になった。五千では一生懸命走りたい。

＝五千_㌢スピードの違いわかっているがついていけない。力不足です。頑張らないと世界との差は縮まらない。この経験を駅伝に生かしていきたい。

*オリンピックの借りはオリンピックで返してもらいたいと思うのだが…。

【M選手】（一万_㌢）（五千_㌢）＝残念。今の実力。世界の強さに通用していない。力不足。五千_㌢に向け頑張る。

＝結果は残せなかったが次にまた頑張りたい。

*世界の長距離競走のスピードにどのように対応できるか今後を期待したい。

【M選手】（ハンマー投げ）＝今の持てる力を出した。

*ターンにスピード感が感じられない。どうした室伏！

【K選手】（四百_㌢）＝差をつけられすぎた。戦うためには2～3段階レベルを上げていかないといけない。オリンピックで力を発揮することは難しい。

*オリンピックで学ぶことは多い。ロンドンには期待できそうだ。

【T選手】（二百_㌢）＝オリンピックでは甘いタイムでは残れない。落ち着いてレースができた。自分で気持ちを整え、やりたいことはできた。みんなで調子を上げていきたい。

*オリンピックの経験があるのとないのでは分析力も違う。

【S選手】（二百_㌢）＝精一杯やった。だめでした。200は終わったがリレーで頑張る。

*無念な表情とその心の内が伝わってくる。

【N選手】（110mH）＝大会に向け全力を出したが残念。アキレス腱痛で昨日はじめてハードルを跳んでみたが……。頑張ったかったが残念です。

*今年度の彼の全てを語っているようだ。

【4×100m リレーメンバー】

【T選手】最高です。Sさんを目指して走るだけです。

これからも頑張ります。

【S選手】 みんなの力を合わせて挑んだ。夢中で走った。この場にいきつくまでの歴史がこの結果になった。日本短距離の戦いの結果であった。オリンピックはあきらめない大切な試合です。

【T選手】 言葉にならないくらい嬉しい。Aさんが気持ちよく走ってくれてよかった。夢は叶うという実感を得た。

【A選手】 最高の舞台で最高の気持ちです。夢の空間を走っていた。体がどこまで持つか、反面メダルがもらえる位置、昨日から楽しみながら今日を待った。今までのメンバーに感謝したい。世界と戦える日本を見せられてよかった。あきらめず頑張った。力をもらって走ることができた。

*本当に良かった。おめでとう日本の短距離チーム！